

社協仲間の仕事ぶりをご紹介します!! 智頭町社協 正美詩穂さん

総務課 係長

プロフィールを教えてください?

平成23年に智頭町社協へ入職後、サロン・ミニデイや団体業務などの地域分野の業務を担当し、その後、総務部門へ異動し法人運営や労務・経理業務に携わりました。現在は日常生活自立支援事業や法人後見事業を中心に担当しています。



力を入れているお仕事は何ですか?

日常生活自立支援事業や法人後見事業は「福祉サービスの利用支援」「財産管理」などを行っており、判断能力が不十分な方が住み慣れた地域において自立した生活を送るうえで非常に重要な事業です。

生活に必要な金銭を本人の口座から引き出しお渡しするケースが多いのですが、金銭をお渡しするだけでなく、時間を掛けて普段の様子を聞くようにしています。

例えば、ひとり暮らしの利用者様にサロン活動への参加や配食サービスなどをご紹介したことがありましたが、他人との関わりを好まない方であったため当初はお断りされていました。支援の度に体調や日々の暮らしについてもお聞きするうちに、とあるキッカケがあり配食サービスを利用されるようになりました。

専門職が関われる時間は生活の中のごくわずかであることを忘れてはいけないと思っています。支援外の場面においても「困りごとが無いだろうか」を意識し、伴走的な支援を続けていると、本人の気持ちに変化があったタイミングで必要な制度やサービスにつながられることもあるなど実感しています。

心掛けていることはありますか?

利用者のなかには「想いを上手く伝えられない事」や「間違ったまま思い込んでいる事」によって生きづらさを抱えている方がいます。会話をしながら本音や言葉の裏側をゆっくり聞き取ることで本当は何が不安なのかを聞き出し、本人本位の支援へ繋げることを心掛けています。

総務担当時に法令や通知など「何に基づいているのか?」を常に意識していました。地域担当に異動しても「この活動はどういった経緯で始まり、なぜ社協が行っているのか」「目的は何なのか」を、自分が納得できるまで考えるようにしています。

また、チームによる支援も重要視しています。

個別支援から地域課題が見えてくると

日々感じているので、そこで見つけた課題や強みを毎月行うグループ会議にて小地域ごとの「地域台帳」に落とし込み、社会資源や、キーパーソン、地域トピックなどを集約し、地域へのアセスメントに取り組んでいます。職員個々の対応に差が出ないチーム全体による住民へのアプローチを目指しています。



わたしに必要な「コレ」

仕事のオフは「土いじり」に励んでいます。玄関先の鉢に季節の花を植えているのですが、花をほったらかしにしておくと実が出来て栄養が取られるので切り落とさないと他の葉の元気がなくなります。肥料をやるタイミングを考えたり根が伸びてきたら土や鉢の植え替えをしたりと手間暇をかけながら季節の彩を楽しんでいます。

目配りと気配りが行き届いている正美さんらしいエピソードでした。

地域のお宝発見！！

「臨床美術で集いの場づくり」 江府町社会福祉協議会

サロンで臨床美術

今回は、江府町社会福祉協議会主催サロンで行われている「臨床美術」の活動についてご紹介します。

臨床美術とは、絵やオブジェなどの作品を楽しみながらつくることによって、脳を活性化させたり、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法(アートセラピー)のひとつです。

上手も下手も関係なく、誰もが楽しみながら作品をつくることのできるアートでもあります。



予想外の完成作品

「クリニカルアート鳥ト雲(とりとくも)」所属の臨床美術士さんを講師にお招きして、毎回違うテーマで作品づくりに挑戦されています。取材に訪れた日は、「ハンドフラワー」づくりに挑戦されていました。

透明なキャンバスに好みの色の塗料を指で伸ばしたり円を描いたり花や茎を描きます。手指の形や動きが花の形になることや、手で直接描くことの特徴的な感覚が楽しめます。

様々な色使いや指の動きにより描き始めには予想もしなかった花となっていく、空に映える花のつもりがいつの間にか水に浮かぶ花に変化するなど、臨床美術の魅力が体験

出来ました。

活動中は無言になるほど集中される方や談笑しながら制作を進める方など様々でした。

褒められる効果

作品が完成した後は、飲み物とお菓子を召し上がりながら参加者皆で講師からのコメントに聞き入りました。

「カラフルでお花畑のよう」「白い線が涼しさを演出」「黒色は勇気があるが効果的」など、細かなレタッチについても触れられながら気持ちがポジティブになる講評をいただき、褒められることが参加者の刺激にも繋がることを実感しました。

参加者の方々に感想を尋ねると「毎回楽しみに来てます」「今までの作品は全て家に飾ってます」といった声が聞こえてきました。

「社会的孤立」予防のひとつとしても集いの場への参加は効果的です。



そして、単発ではなく継続することが大切ですが、参加者がリピートしたくなる魅力が臨床美術には詰まっています。

社協ワーカー向け「情報BOX」

「AIチャットボット」が支援制度・相談窓口紹介!!

令和6年4月1日より「孤独・孤立対策推進法」が施行されます。

悩みを抱える方をサポートするため、約150の支援制度や窓口の中から個々の状況に合った支援をチャットボットが紹介する機能があります。

まずは制度や窓口があることに気付いていただくことも必要です。

<https://www.notalone-cas.go.jp/>

「CORE(コア)」とは「芯、核心」などの意味を持つ英単語です。地域で活躍する社協職員や特徴ある地域活動等の内側にフォーカスした内容をお届けします。